

であらう（以前佛印で「熱帯園藝」といふのが發刊されて居たさうである）、兎に角此の1冊の頁を次々に繰つて我々は奇異の感にさへ打たれる。編輯されたのは同所の橋本梧郎氏（本會々員で氏より本會に1部御寄贈を得たのである）で母國に在る時は静岡縣の小學校に奉職して居られた御方で、現在は高等植物や昆蟲を研究の傍に伯邦子弟の教育に當つて居られることと思ふ。海外にあつて此の種の雜誌を發刊するには並々ならぬ苦心が存するに相違無く其の意味で自然 *Natura* の創刊は確かに壯舉である。本誌が日伯兩國の文化と親善に寄與する所は大きいと想ふ。第1號は菊判116頁、原色圖版もあり本文中の挿圖も豊富。掲出記事は動植物に限らず自然科學全般に亘り、各報文には葡語の摘要が附いて居る。

正		誤	
頁	行	誤	正
203	1	突出す	突出ず
"	4	眼は後列	眼は後曲
204	2	<i>silvicorum</i>	<i>silvicolum</i>
"	9	歩脚の	歩脚の脛節は
"	18	2 屬は芝に	2 屬は共に
205	8	<i>quadratischen</i>	<i>quadratischen</i>
207	4	Tab. 5	Taf. 5
210	12	瓊理縣	瑤理縣

前號は印刷所多忙で12月30日にやつと出来しましたが、歳末郵便物軍塗の折からを考慮し新年になつてから發送申し上げました。随つて御落掌が大分遅れ申譯ありません。日本蜘蛛類圖説第一〇圖のハヘトリグモは日本動物圖鑑にも出て居る種類で當初の言明（第5巻第4號第246頁）に悖る様ですが、實は別種のハヘトリグモを掲出の豫定の所其の種類の學名に疑義を生じた爲急に搦き替へてハヘトリグモにした譯であります。御諒承願ひます。八木沼氏の御報文中に誤植の多かつたことも恐縮です。本號から9ボの本文の行間を従来よりも狭め1頁の内容をそれ丈豊にしました。尙本號からは他にも色々改革を施し學術雜誌としての體裁整備に力めたことを御承知下さい。

本誌に御寄稿下さる場合は是非第5巻第3號第200頁を御一覽願ひます。本誌の印刷所ではスモールキヤツプが揃つて居ませんから、學名の命名者其他人名は並活字とし従つて下に2線を施すことは無用で編輯者は一々それを消さねばなりません。「猥に改行せず」も成可く御實行下さい。無用な句讀點を打ちたがる御方も御注意願ひます。

本誌のバックナンバーは創刊號から揃つて居て何冊でもお需めに應じます。第5巻第2號（深澤記念號）のみ1部送料共1圓40銭、他は送料共50銭均一です。中途から御入會